

あいづわかまつ 文化財だより

発行：会津若松市教育委員会

編集：会津若松市教育委員会
文化スポーツ課

〒965-0873 会津若松市追手町2番41号

TEL 0242-39-1305 FAX 0242-39-1272

—第 32 号—
令和 7 年（2025）4 月 1 日

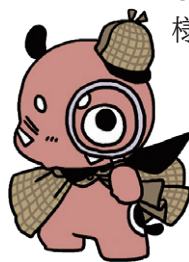
城前団地建設に伴う発掘調査

発掘調査の概要

調査地は若松第二中学校グラウンドの東側で、江戸時代の終わり頃は、田中源之進と大竹主計（それぞれ 400 石）の屋敷跡でした。

以前、県営住宅や市営住宅が建っていたため、遺構の残りは良くなかったものの、それぞれの屋敷の池跡や井戸跡などが発見され、陶磁器の碗や皿、漆器椀、下駄などの木製品などが出土しました。

また、弥生時代や古墳時代の土器や、鉄を溶かすための炉の破片、鉄製品の鋳型も発見されました。この周辺は南側の台地よりも低くなっており、昔は河川の流路だったことから、江戸時代よりも古い時代の、台地上での営みの様子もわかりました。



今回の調査地点



▲ 田中邸の井戸跡と池跡



▲ 現地説明会

7 月 20 日の土曜日に現地説明会を開催し、約 50 名の方々に参加していただきました。

参加者からは、資料には残っていないことが発掘調査で解明され、自分が住んでいる地域の昔の様子がわかって良かった、という声が聞かれました。

現地説明会

文化財の活用

魅力を伝える取り組み(令和6年度)

文化財に関する 意見交換会

令和4年度から、文化財についての意見交換会を実施しており、令和6年度も、2部構成で行いました。第1部では、地域に残る伝承や天然記念物等の歴史資源を継承する取り組みについて、地域の方に事例報告してもらい、歴史文化継承の意義、方法や問題点などについて活発な議論が交わされました。

第2部は、他の地域に残る歴史資源とその保存・活用をテーマに、河東町での「皆鶴姫」を題材にした取り組みなどの発表がありました。意見交換会の内容については、市ホームページでも公開していきますので、ご覧ください。



▲非常に有意義な議論が交わされました。

北会津町ワークショップ



▲マップを作成する前に、皆さんで意見を出し合いました。

令和6年6月から7月にかけて「歴史・文化・その他、美しいものや絶景など北会津のいいもの」をテーマとした、全2回のワークショップを開催しました。

今回は、北会津町に残る歴史資源を次世代に伝えるためのマップを作りました。歴史資源を地図上に示し、それぞれに参加者のみなさんが思いのコメントを付箋でつけました。それぞれ、作業や参加者同士の会話を通じ、初めて分かったことや気づいたことがあったそうです。

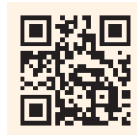
今回のワークショップで作成した地図は、現在、北会津公民館で展示されていますので、ぜひ一度ご覧ください。

まなべこ歴史文化講座

まなべこ歴史文化講座では、会津の歴史や文化をテーマにして多様な内容を紹介しています。令和6年度は「歩いてみよう大塚山古墳」「鶴ヶ城の建物をさぐる」など、かの登録文化財を巡る一など好評の屋外講座と、会津の魅力や歴史について学ぶ屋内講座の合計9回を開催しました。

今年も「先人に憧れ、郷土に誇りを持つ学びの場」という理念に基づき、会津の先人たちの歴史を身近に体験できる機会を提供します。皆様の参加をお待ちしています。

◎歴史資料センターまなべこ(城東町2-13、月曜休館、☎0242-12712705)



▲まなべこ 公式HP



▲屋外講座のようす
福西本店(登録文化財)の造りの解説を受けました。

赤井谷地観察会

湊町にある赤井谷地沼野植物群落は、約2万年前の氷河期に自生していた北方系の植物が現存している珍しい高層湿原です。学術的にも価値が高く、国の天然記念物に指定されています。

谷地の保護・保全への理解を深めていただくための観察会を昨年8月に開催しました。今回から、より多くの方に谷地を知ってもらうために、市外の方も参加対象としたところ、38名もの方に参加いただきました。

谷地の調査に携わっている日本大学の笹田准教授に谷地の成り立ちや、谷地特有の植物や昆虫について、説明いただきました。

なお、谷地は、湿原の保護のため、普段は立ち入りできません。



▲目をこらして希少な植物を探索しています。

院内御廟歴史散策会



▲みなさん熱心に職員の説明に耳を傾けていました。

東山町にある国指定史跡会津藩主松平家墓所(院内御廟)は、江戸時代に造られた、藩主とその家族のお墓です。

市では毎年、実際に史跡の中を散策しながら、墓所のつくりや会津藩の歴史について学ぶイベントを開催しており、令和6年度は6月30日に行いました。散策会では、初めて参加される方、歴史についてもう少し詳しく知りたい方、藩主の家族のお墓について知りたい方向けの3つのコース分けを設定しています。

院内御廟はその広さやお墓の造りが全国的にも珍しいといわれています。

今年も開催を予定していますので、ぜひご参加ください。

平沢地区試掘調査

▶試掘調査作業風景

遺跡の有無やその性格を探っています。



平沢地区では農地整備に先立ち、令和3年度に踏査を行い、複数の埋蔵文化財包蔵地（遺跡）の存在が推定されました。

令和5年度からそれらの正確な内容や範囲の確認を行うための試掘調査を実施し、令和6年度は国道49号線北側と県道326号線の東側で行い、平沢集落や中ノ明・藤室集落付近において、柱穴・溝跡、江戸時代の陶器等が出土しました。

また、調査範囲の各所で、現在の地面のすぐ下に湿地や河川と思われる堆積層を確認しました。この堆積の中からは、比較的新しい時代の遺物が出土したことから、今回の調査範囲は、近現代以前、湿地や河川が入り混じる箇所だったことがうかがえます。

墓料遺跡発掘調査 整理事業

▶1974(昭和49)年に実施した発掘調査の様子



一箕町の墓料遺跡は、亡くなった人の骨を土器に納めて埋めた、再葬墓と呼ばれる弥生時代の遺構が多数発見された遺跡です。

これまでの調査で、日本各地の再葬墓遺跡の中でも最大級である200個程の弥生土器が発見されており、現在、これらの再整理を進めています。整理の結果、東海地方や関東地方など、会津以外の特徴を持った文様の土器も出土していることが分かってきました。

整理は来年度まで続く予定です。

本町の道路拡幅工事に 伴う発掘調査



▲出土した鋳型(いがた)の一部。鋳の取手の部分のようです。

▶水路に平らな赤い石を被せて、地下に水を通した暗渠(あんきょ)の跡です。



昨年に引き続き、市内本町で市道の拡幅工事が予定されている範囲で、9月から11月にかけて発掘調査を行いました。

この場所は、蒲生氏郷が会津を治めていた時代から「本一ノ丁」という道路として整備されており、調査では、江戸時代の道路の舗装跡を確認しました。

また、さらに古い時代の層からは、金属の鋳造を行った工房跡とみられる遺構を確認しました。このような調査成果は、城下町として整備される以前のまちなかの姿を知る、貴重な手掛かりとなります。

新たな市指定文化財

木造金剛力士像（八葉寺）
木造聖観音菩薩立像（薬王寺薬師堂）



▲ 木造金剛力士像
(左：吽形、右：阿形)

▲ 木造聖観音菩薩立像
(写真中央)

河東町八葉寺の木造金剛力士像が、平安時代の定朝様を継承しつつ、鎌倉時代の力強い造形もうかがえるとして、令和6年3月に、市指定文化財となりました。

また、大戸町薬王寺薬師堂の木造聖観音菩薩立像が、一木造で、素朴な中にも鎌倉時代の写実的な造形がうかがえるとして、令和7年1月に、市指定文化財となりました。

遺跡（周知の埋蔵文化財包蔵地）内で工事をする際には、事前の届出が必要です。

工事に着手する60日前までに文化財保護法に基づく届出が必要です。

遺跡の有無は、窓口、FAX、メールまたは、会津若松市公開用GISでも確認できます。工事予定地が遺跡に該当、もしくは近隣にある場合は、文化スポーツ課までお問い合わせください。



▲会津若松市公開用GIS

文化財マップの活用

令和6年9月、湊学園後期課程で、令和5年度に湊地区のワークショップで作成したマップを使った授業が行われました。

マップは、湊地区の歴史や文化を中心とした、地域の「たからもの」について紹介しており、授業に参加した中学生はマップを参考に、湊地区の名物を巡る観光コースを班ごとに考えて発表しました。

授業にはマップづくりに関わった湊地区の方々がコースづくりのアドバイザーとして参加し、講師では、「今回の授業が地区の歴史や文化に興味を持つきっかけになれば嬉しい」と話していました。



▲ 先生と地区の方のアドバイスを聞きながらコースを考えます。

郷土研究の奨励

郷土会津に関する調査や研究をした作品を毎年募集し、郷土研究に取り組む方の励みになるよう、優秀な作品には奨励金を贈呈しています。

令和6年度は準奨励賞2作品、努力賞4作品を奨励しました。準奨励賞以上の作品は

受賞内容	作品タイトル	氏 名
準奨励賞	柳澤健と国際交流 ：第一次世界大戦後の日泰文化交流をめぐる	高野 延光
準奨励賞	金川屋にまつわる回想録	斎藤 綾香
努力賞	安比豆祢は筑紫へ旅立つ防人の一里塚	五十嵐 公一
努力賞	会津のカラムシと宮古上布について －文化的遺産を継承するために	滝沢 洋之
努力賞	秋月悌次郎と長州藩士・奥平謙輔の交流について	中田 由紀
努力賞	会津の鯉料理と養蚕のつながり	安田 瑛喜 (若松第二中3年)

歴史資料センターまなべこや会津図書館で閲覧することができますので、ぜひご覧ください。

令和7年度の募集要項については、5月1日以降発行の市政だよりおよび市のホームページを参照してください。



▲ 郷土研究奨励金交付式

文化財の保護、未来へ残すために

文化財防火デー

1月26日は、昭和24年に法隆寺金堂の壁画が焼失した日にあたります。昭和30年、この日が「文化財防火デー」と定められ、全国的に文化財防火運動が展開されています。市でも毎年、防火査察と防火訓練を行っています。

第71回となる今年は、1月19日、鶴ヶ城で防火訓練を実施しました。訓練では、会津若松観光ビューローによる初期消火・避難誘導訓練、会津若松市消防団、会津若松消防署による放水訓練が行われました。



▲ 放水訓練のようす

イトヨ調査と

白山沼の管理

白山沼に生息する「イトヨ」は会津若松市の天然記念物に指定されており、特徴的な背中の3本の背びれ棘から、地元では「トゲチョ」と親しまれています。しかし、近年生息環境の悪化により生息場所が減少しています。

沼内の環境保全のために毎年夏に白山沼水利組合が水草や藻の刈取作業を、秋には文化スポーツ課がイトヨの生息調査を行っています。

今後も地域の協力と調査結果を基に、イトヨの生息環境と沼の環境保全に取り組みます。



▲ イトヨの成体（写真右）、イトヨの幼生（写真左赤丸内）